

EEM サブシステム CPU トラフィックをモニタするため

目次

[概要](#)

[閾値を交差させ、制限の下で落ちる場合の EEM スクリプトを CPU稼働率を監視するために設定する方法](#)

[解決策](#)

[上昇しきい値](#)

[下降しきい値](#)

[確認](#)

概要

この資料に CPU トラフィックをモニタするために Cisco IOS Embedded Event Manager (EEM) サブシステムを使用する方法を記述されています。

閾値を交差させ、制限の下で落ちる場合の EEM スクリプトを CPU稼働率を監視するために設定する方法

解決策

IPアクセスリスト ログ アップデート しきい値はすべての Access Control List (ACL) ログを記録しますが、同時により多くの CPU を利用します。

EEM を設定するステップ:

1. CPU の設定されたより高いしきい値 の 限界が超過するとき、それによりすべての ACL の記録のプロセスを停止する #ip access-list ログ アップデート しきい値 1 コマンドをディセーブルにして下さい。
2. CPU の設定された低限が下記を廃棄するとき、それによりすべての ACL の記録のプロセスを開始するこの #ip access-list ログ アップデート しきい値 1 コマンドを有効にして下さい。

たとえば CPU が 60% を超過し、20% を下回るとき、EEM を引き起こす必要があります:

1. CPU が ≥ 5 sec のための 60% 利用を超過するとき、上昇しきい値 syslog 通知は発行されます。
2. CPU が ≥ 5 sec のための 20% 利用を下回るとき、下る syslog しきい値 通知は発行されます。

上昇しきい値

上昇 CPU稼働率 しきい値は時間の設定された 期間の間超過されたとき CPU しきい値 通知を引き起こす CPU リソースのパーセントを規定します。

下降しきい値

下る CPU稼働率 しきい値は CPU使用が時間の設定された 期間のこのレベルの下で下るとき、CPU しきい値 通知を引き起こす CPU リソースのパーセントを規定します。

(syslog メッセージと一致する) イベント マネージャ アプレット 上昇しきい値 syslog メッセージを無視します。それは下る syslog しきい値のためにだけ一致します --> "SYS-1-CPUFALLINGTHRESHOLD" はそれから操作を実行し。これは syslog メッセージが問題である度に起こります:

- CPU が 60% の上で行き、そこに残れば 1 つの syslog メッセージだけ生成されます。
- CPU が 20% を下回り、そこに残れば 1 つの syslog メッセージだけ生成されます。

検証

(CONF) #process CPU しきい値型総上昇 60 間隔 5 下る 20 間隔 5

1. CPU は 60 のしきい値を超えると、SYS-1-CPURISINGTHRESHOLD syslog パターンを生成し、それ故にコマンドをディセーブルにします:

イベント マネージャ アプレット HIGH_CPU

イベント syslog パターン "SYS-1-CPURISINGTHRESHOLD"

アクション 1.0 CLI コマンド enable

アクション 2.0 CLI コマンド 「config t」

アクション 3.0 CLI コマンド 「IPアクセスリスト ログ アップデート しきい値無し 1」

*Oct 11 19:21:11.983: %SYS-1 - CPURISINGTHRESHOLD: しきい値: CPU合計使用率 (合計 /Intr) : 63%/19%

2. CPU は 20 の制限の下で下るとき、SYS-1-CPUFALLINGTHRESHOLD syslog パターンを生成し、それ故にコマンドを有効にします:

イベント マネージャ アプレット LOW_CPU

イベント syslog パターン "SYS-1-CPUFALLINGTHRESHOLD"

アクション 1.0 CLI コマンド enable

アクション 2.0 CLI コマンド 「config t」

アクション 3.0 CLI コマンド 「IPアクセスリスト ログ アップデート しきい値 1」

*Oct 11 19:21:31.983: %SYS-1-CPUFALLINGTHRESHOLD: しきい値: CPU合計使用率 (合計 /Intr) 12%/0%。

